

ブルゴーニュ大学への協定留学 月例報告書 (9月)

人見小春

1. はじめに

私がフランスに興味を持ったのは大学でフランス語やフランス文化を学び始めてからです。大学を決める際に漠然とした国際文化への興味はありましたが、授業で学んでいくうちにフランスへの興味は膨らんでいきました。元々留学も視野に入れての大学選択でしたがコロナウイルスの影響もあり中々難しいと諦めていました。しかし協定留学制度が再開することになり、大学生活の中で大きくなっていったフランスへの気持ちを経験に変えたいと思って今回の留学を決断しました。

2. 到着まで

留学準備にはまず協定大学への入学手続き、寮への申し込み、Campus France 登録、そしてビザ申請があります。他にも保険加入や奨学金申請など様々ありますが、とにかくビザの申請が一番大変でした。大学登録、Campus France、ビザ申請には全て時間がかかり中々スムーズにはいきません。ビザ申請は渡航 3 か月前からできるのですが逆算してその何か月前から準備を始めておくべきだったと後悔しました。特に夏の大使館はなかなか訪問予約が取れないので要注意です。しかししっかりと必要書類を用意しておけば申請自体はスムーズに終わります。

そしていよいよ出発の日。私は値段の安さで乗り継ぎ便を選びました。当日は台風が直撃し電車が止まるというトラブルもありましたが、無事に空港に到着することができました。私が特に不安だったのが荷物の重量オーバーでした。事前に何度も確認して行き無事超過料金は払わずに済みました。乗り継ぎや入国審査などは拍子抜けするほどあっさり終わりました。しかしここで私は一つの失敗をしてしまいました。携帯電話の sim カードは現地の空港で買おうと思っていたのですがあまり安いものがなく、高めのものを念のため何枚も買ってしまいました。1枚あれば継続が出来るし番号が変わると様々な手続きで面倒になってしまうのでとても後悔しています。こちらで sim カードを買う場合 Free という会社が圧倒的にお得でおすすめです。たくさん店舗もあるから到着してから余裕をもって買えばいいよ、と当時の私に言ってあげたいです…。

無事昼過ぎ頃寮に到着し、周辺を探索しました。市内にはトラム（路面電車）やバスが走っており中心街や大学などどこへ行くにも利用します。他にも自転車を借りることができるなど、とにかく移動手段には困りません。到着したのが日曜日だったのでお店はどこも閉まっていたのが残念でしたが、ディジョンの街並みはとても素敵でした。

3. フランスでの生活

到着してから最初の一週間は授業がありませんでした。月曜にクラス分けテストが実施され、金曜にクラスが発表されます。それまでの間はオリエンテーションとしてディジョンの街を案内してくれたり、皆で遠足に行ったりしました。左が遠足で行った Hôtel Dieu、右がディジョンの写真です。オリエンテーションの中で他の留学生とも交流を深めることができました。



9月後半、日本ではまだ暑さが残っていましたがこちらはほとんど冬のように寒く持ってきた秋服の出番はありませんでした。代わりに持ってくればよかったと思ったものは食器や調理器具です。寮には共用キッチンがありますが、お鍋やフライパン、包丁やまな板、食器などはありません。(借りられるものもあるみたいですがあまり綺麗ではありません…) 私はこれらを一切持ってきていなかったのもので全てこちらで調達しました。さらにあると便利なものは電気ケトルです。寒い季節なので出番が多く、わざわざキッチンに行かずにお部屋ですぐに沸かせるととっても便利で、これもこちらで調達しました。

とにかく到着してからはじめの生活は手続き関連の連続でした。在留届、ビザを有効にする手続き、住宅保険加入、学生証発行、銀行口座開設など、わからないことも多く大変でした。ここで用意しておけばよかったと思ったのが戸籍謄本とアポステイーユです。日本での手続きでは必要なく、用意する時間も無く、恥ずかしながら何に使うものなのかあまり理解していなかったので全く用意せずに来てしまったのですが、こちらに来てからの手続きで必要になることが発覚しました。私はちょうど今用意している最中でこれから申請を行うつもりです。上手くいくかはわかりませんが頑張ってみようと思います。

4. おわりに

授業は10月から始まるので来月の報告書に書きたいと思います。まだ慣れないことの連続ですが、これからフランスでの生活をより充実させていきたいです。